

伝えたいことを伝えることができる

Aさん自らの表現力の育成

宮崎県立清武せいりゅう支援学校 三ヶ尻あや

発表の内容

- 1 Aさんの実態について
- 2 Aさんがどのようにして変わっていったのか？
- 3 Aさんの自立と社会参加へに向けた取組
- 4 今後の卒業までの取組
- 5 Aさんとの関わりを振り返って

1 Aさんの実態について

1 Aさんの実態 ～身体について

- 学年
高等部 3 年生
- 障害名
先天性ミオパチーによる
両上肢機能障害
体幹機能障害



1 Aさんの実態～身体・健康面について

- ・ 先天性ミオパチーが起因となる握力の低さがあり、物を握りしめたり、手指に力を入れたりすることが困難。
- ・ 人工呼吸器を装着し、電動車椅子を使用し要全介助。
- ・ 口腔内・気管内吸引、胃ろうの医療的ケア対象生徒。
- ・ 側弯予防や疲労回復のために午前中2回、午後1回ベッドに寝て体に負担のない姿勢で学習に取り組む。



1 Aさんの実態 ～ 学習面について

- 実態把握に使用した資料「太田ステージ」
太田ステージStage-Ⅲ-2
ソーシャルスキルとしての言葉 3 5-1
対人関係に有用な言葉の段階

Aさんの対人関係に有用な言葉の段階について 例

周りの人の問い掛けに対して



「はい」 「いいえ」 「そうです」 「ちがいます」
「わかりません」 「教えてください」 「どうぞ」 「ありがとう」 等



伝えるタイミングを促すと、
筆記で伝えたり、スマートフォンの読み上げ機能を使用したりすることができる。

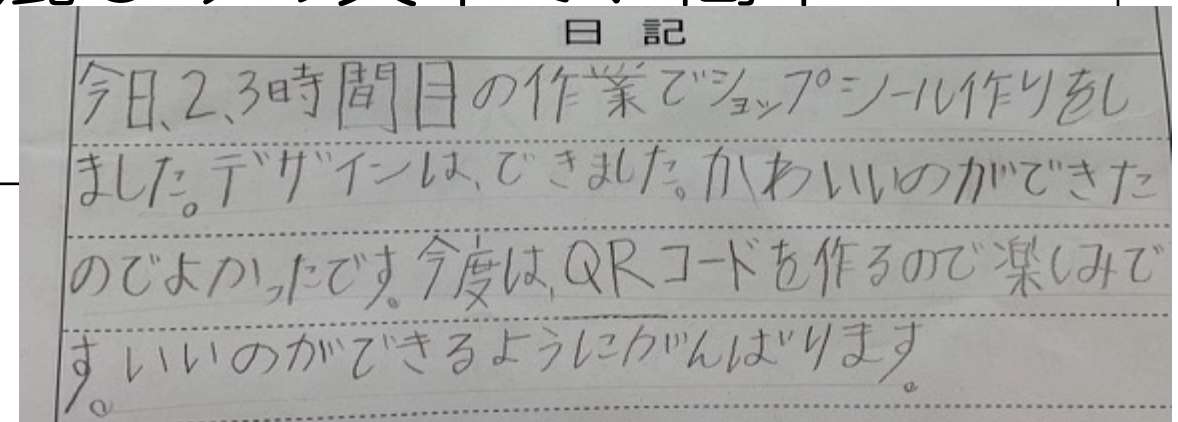
1 Aさんの実態 ～書字について

① 文字を書くことについて

- 意欲あり
- 筋力の低下による手指の巧緻性の低さ
道具を一人で操作することが困難→要支援

② 日記等の筆記について

- ひらがな、カタカナ、漢字混じりの文章で、簡単な感情の表現はできる



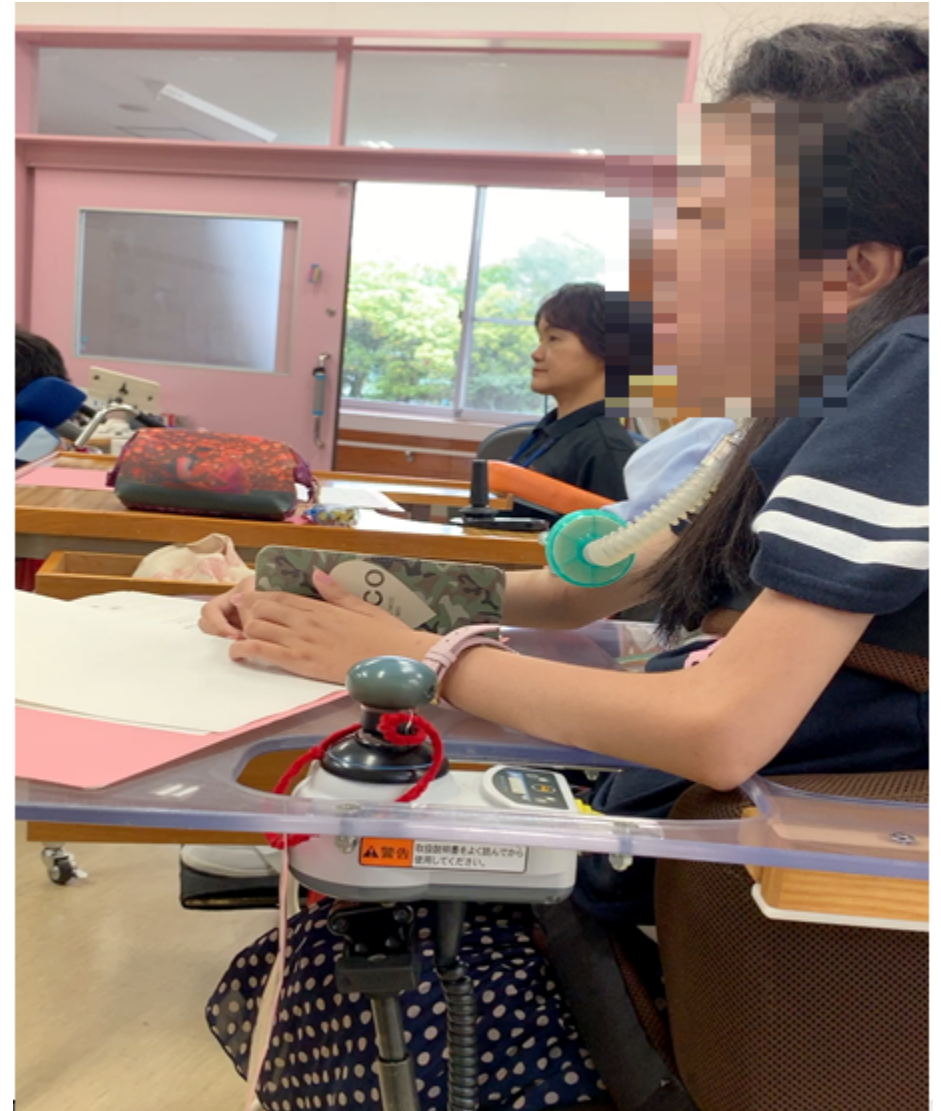
1 Aさんの実態～コミュニケーションについて

- ① 人工呼吸器の装着が発語の機能に影響しており、発語等が不明瞭。
- ② 学校生活では教師や周囲の人へ自分から伝えることや言葉でのやりとりはない。
- ③ 保護者（母）と過ごす時だけ、送迎の車中で学校の出来事、休日の外出先について会話を楽しんでいる。
- ④ うなずき等、肯定の意思表示や、促されると筆記で自分のやりたいことを伝えようとする。
- ⑤ iPad、iPhoneで合成音声の読み上げ機能を使用している。
- ⑥ 支援の要求頻度の高いものは（吸引、水分摂取等）、カードでの指示やサインで伝えることができる。

Aさんのカードの活用 (動画)

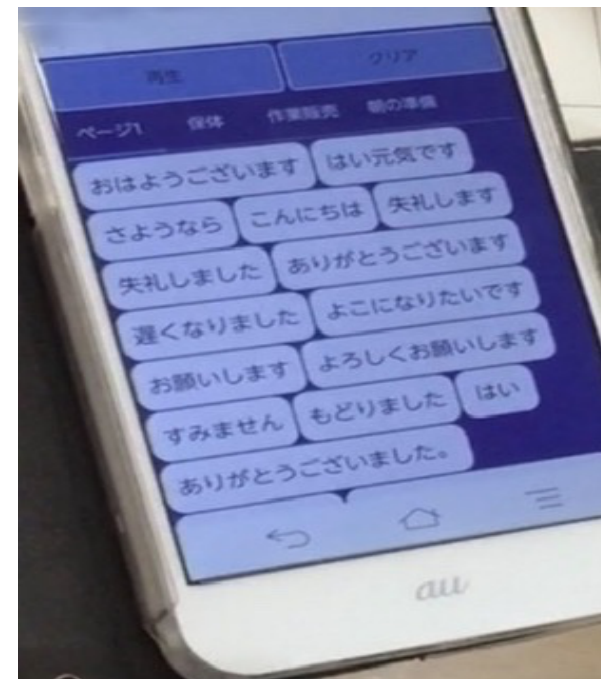


Aさんが支援を依頼 (動画)



前学級担任からの主な引き継ぎ内容

- ① 伝えたいことがあるが、自分から伝えることはない。
- ② 最近（当時）スマートフォンを使って、挨拶することが定着し始めた。
- ③ カードや手話で支援の要求ができる。
(水分摂取、吸引、排泄等)



Aさんと初めて会ったときに感じたこと

実際にAさんと学校生活を送り出して感じたこと



できることが多い！！



Drop Talkのキャンパス編集、Pages、メモを使うことができる！

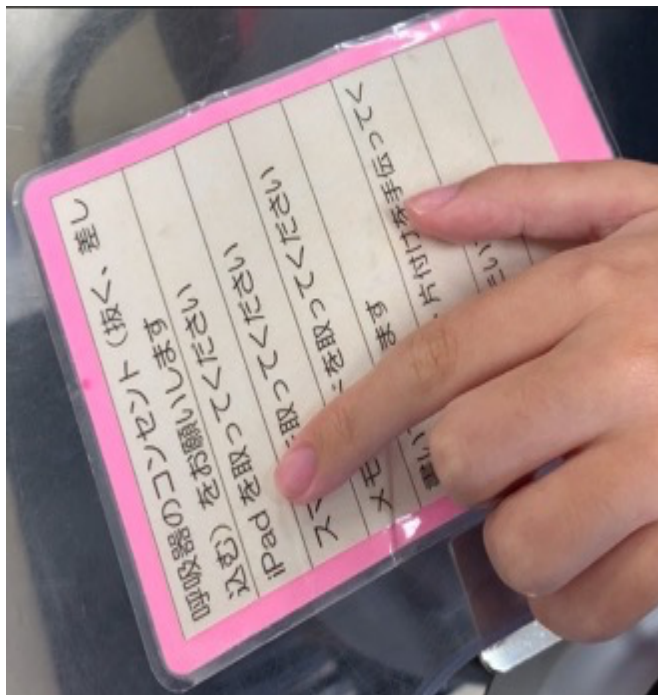
Aさんのコミュニケーションの可能性が広がり

2 Aさんがどのようにして変わっていったのか？

活動の目的（昨年度）

- 高等部卒業後の進路や夢の実現に向けて、必要なコミュニケーション能力の育成。
- 自分が伝えたいことを確実に伝えることができるようになる。

コミュニケーション手段を用途に応じた使い分け



『カード』
水分摂取、排泄、吸引、呼吸管理、iPadの準備の依頼等



『Drop Talk』
日常の挨拶、朝の会（進行）
係活動等

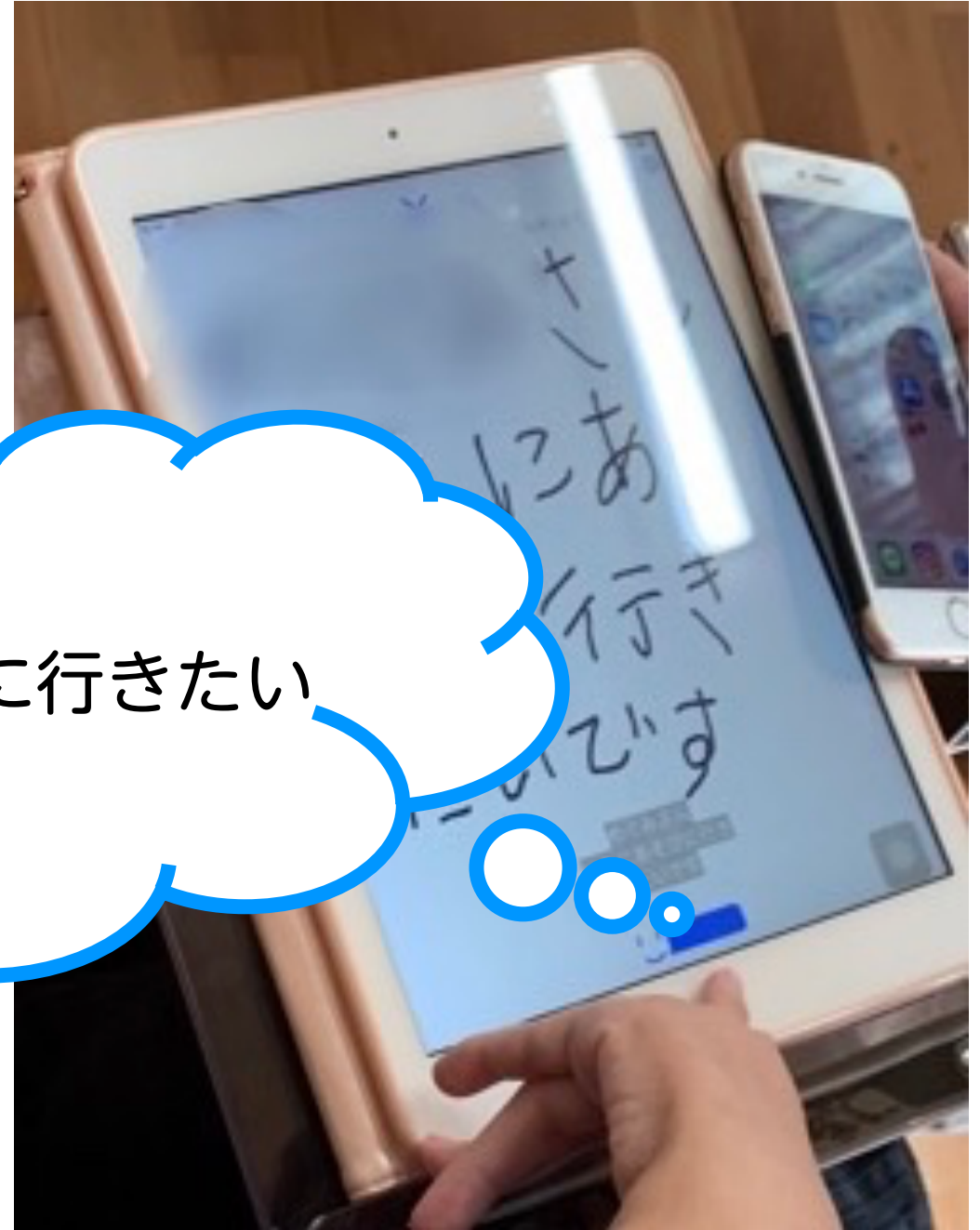
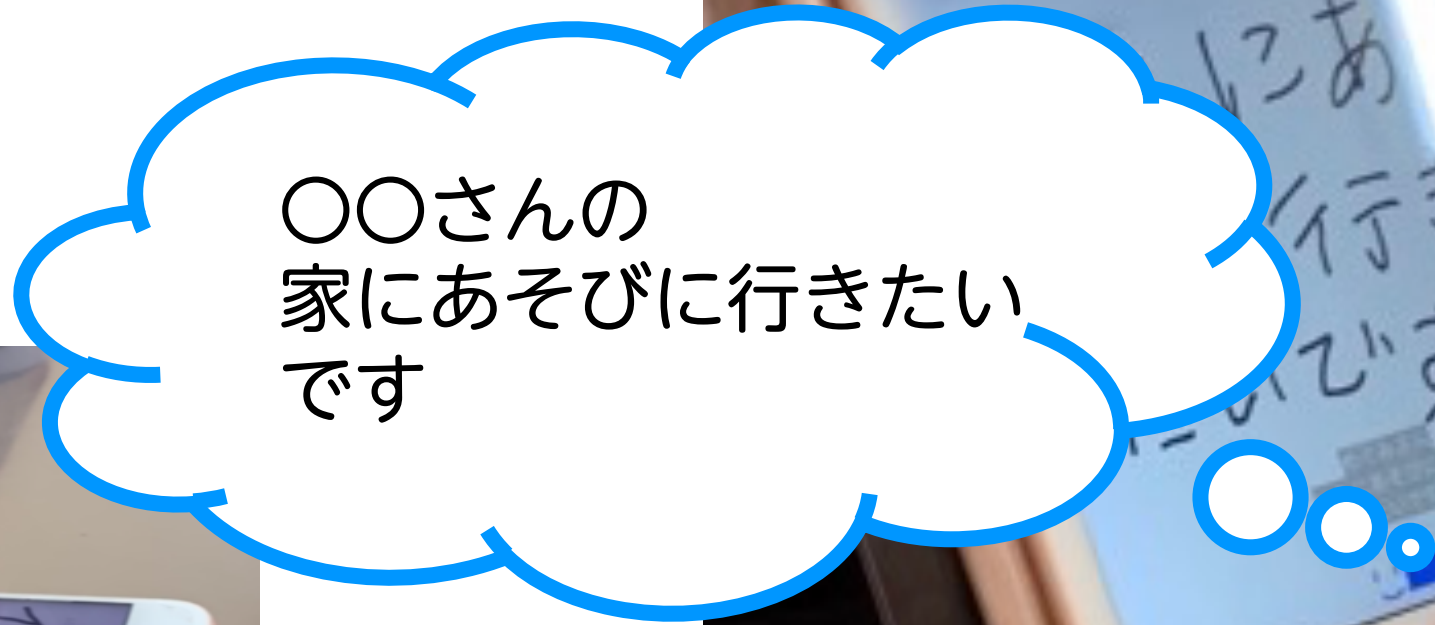
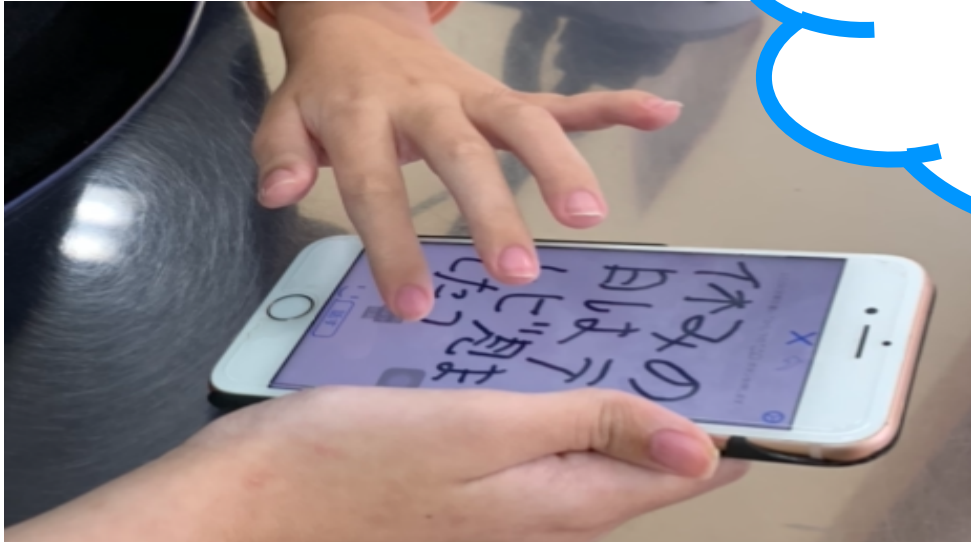


『しゃべって』
会話、やりとり



しゃべって

- ① 画面に手書き
- ② 『話す』をタップすると読み上げる

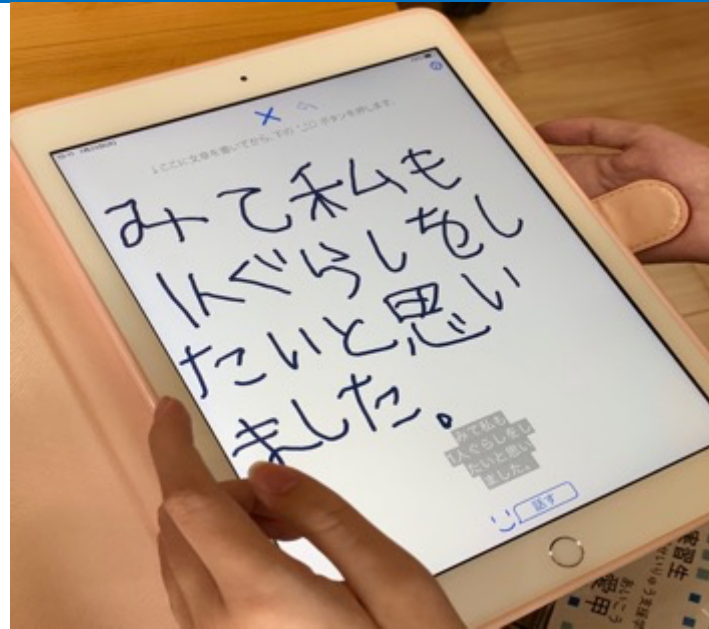
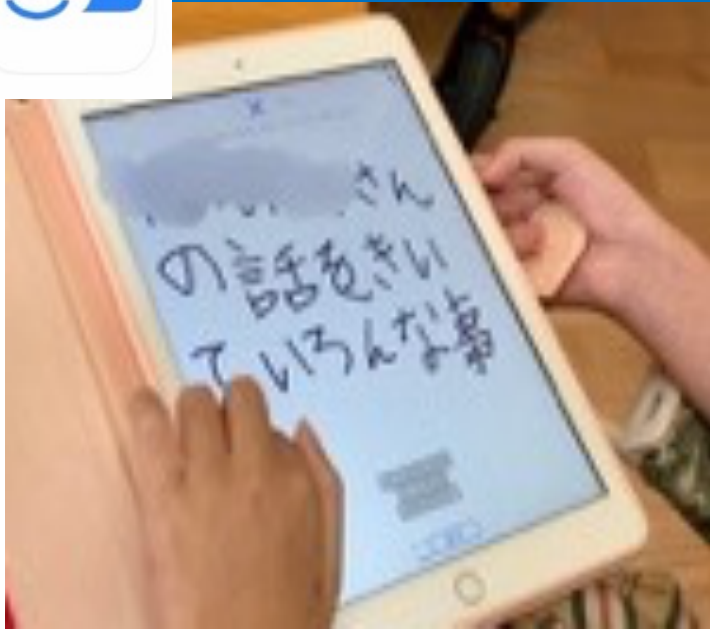


しゃべってアプリ使用（動画）





産業現場等における実習の取組



実習先

1 学期 自立支援センター

『しゃべって』でやりとりの練習を開始して間もない時期。担当者とのやりとりを一人で考えながら回答しようとするが、回答に困ってしまう姿が見られた。

2 学期 生活介護事業所

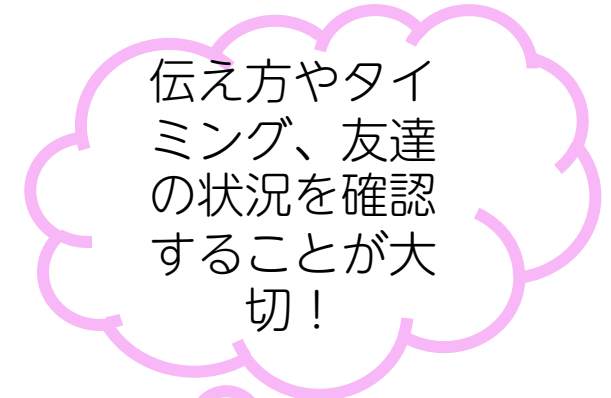
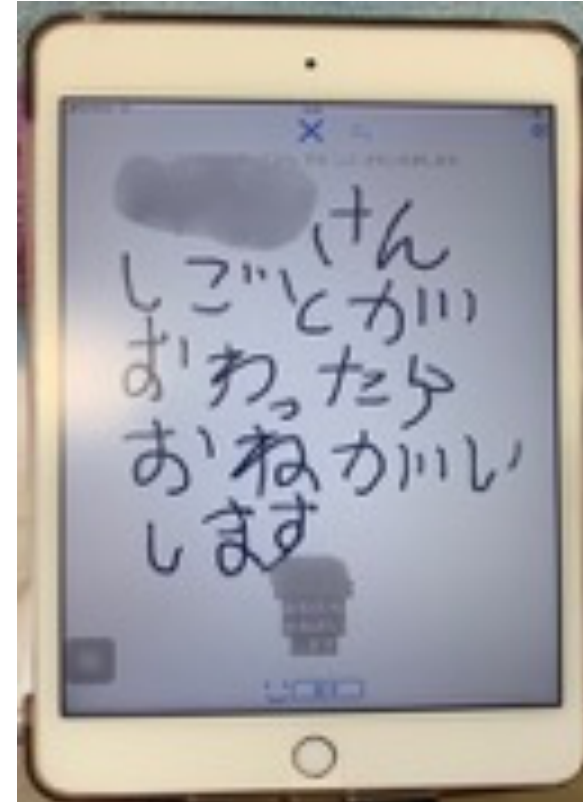
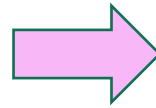
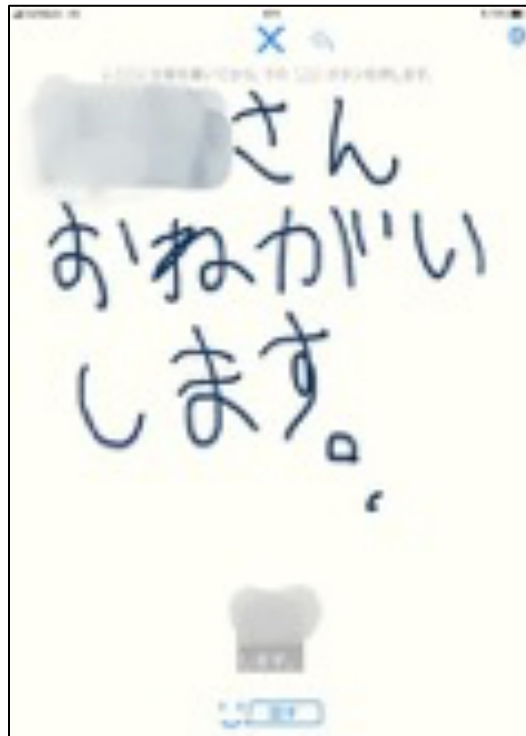
「しゃべって」の使い方も慣れ、やりとりのタイミングも自分で判断して行おうとすることができた。

Aさんとのやりとり

- ・ 気持ちを表現し、気持ちが満たされる時間を設定。
- ・ 電動車椅子から、ベッドへ移乗、リラックスしてやりとりする時間を確保する。
- ・ 今、もっているコミュニケーションを安心して出せるためにも、「しゃべって」アプリを使用して日常生活のやりとりの中で、気持ちを実施者と共有する。
- ・ 時間：月～木までの週5時間（授業開始10分間程度）
日常生活の時間、自立活動、LHRで実施

Aさんのコミュニケーションの変化

朝の活動の出来事 9月 (係活動のやりとり)



Aさんのコミュニケーションの変化

1 2月後半 給食時間 自分の日常生活の範囲内での出来事についてのやりとり

実施者への質問

- ・ 週末は何をしますか？
- ・ 日曜には何をしましたか？
- ・ 昨日、観たテレビ番組は何ですか？
- ・ 観たい映画はありますか？
- ・ 欲しいものがありますか？



初任（新卒）のS先生への質問

- ・ クリスマスイブは誰と過ごしますか？
- ・ クリスマスプレゼントは何が欲しいですか？
- ・ バレンタインのチョコは誰にあげますか？



(令和元年度) 1 1 月

高校3年生のボランティアTさん
とお出かけをしました。

ミスドに行ったり、雑貨を見たり
しました。

自分から なかなか話すことがで
きなかったです・・・。もっとた
くさん話し掛けたかったです



写真 外出の様子

(令和元年度) 2月

ボランティアで担当してくれたTさんから
お誘いを受け、おでかけをしました。
洋服を一緒に見たり、プリクラをとったり
しました。

Tさんと好きなことや恋話とかたくさん
話ができました。

Tさんは高校を卒業したら、福岡の高
齢者施設に就職するそうです。お互い頑
張ろうね！とTさんと約束しました。



写真 外出の様子

Aさんのコミュニケーションの変化 自分から話すようになったAさん

(令和元年度) 3月 Aさんが直筆の手紙の内容から一部抜粋。

3学期になって給食の時間、自分からたくさん話し掛けることができるようになってうれしかったです。毎日楽しかったので、もっと早くから、話し掛けたら良かったなあと思いました。

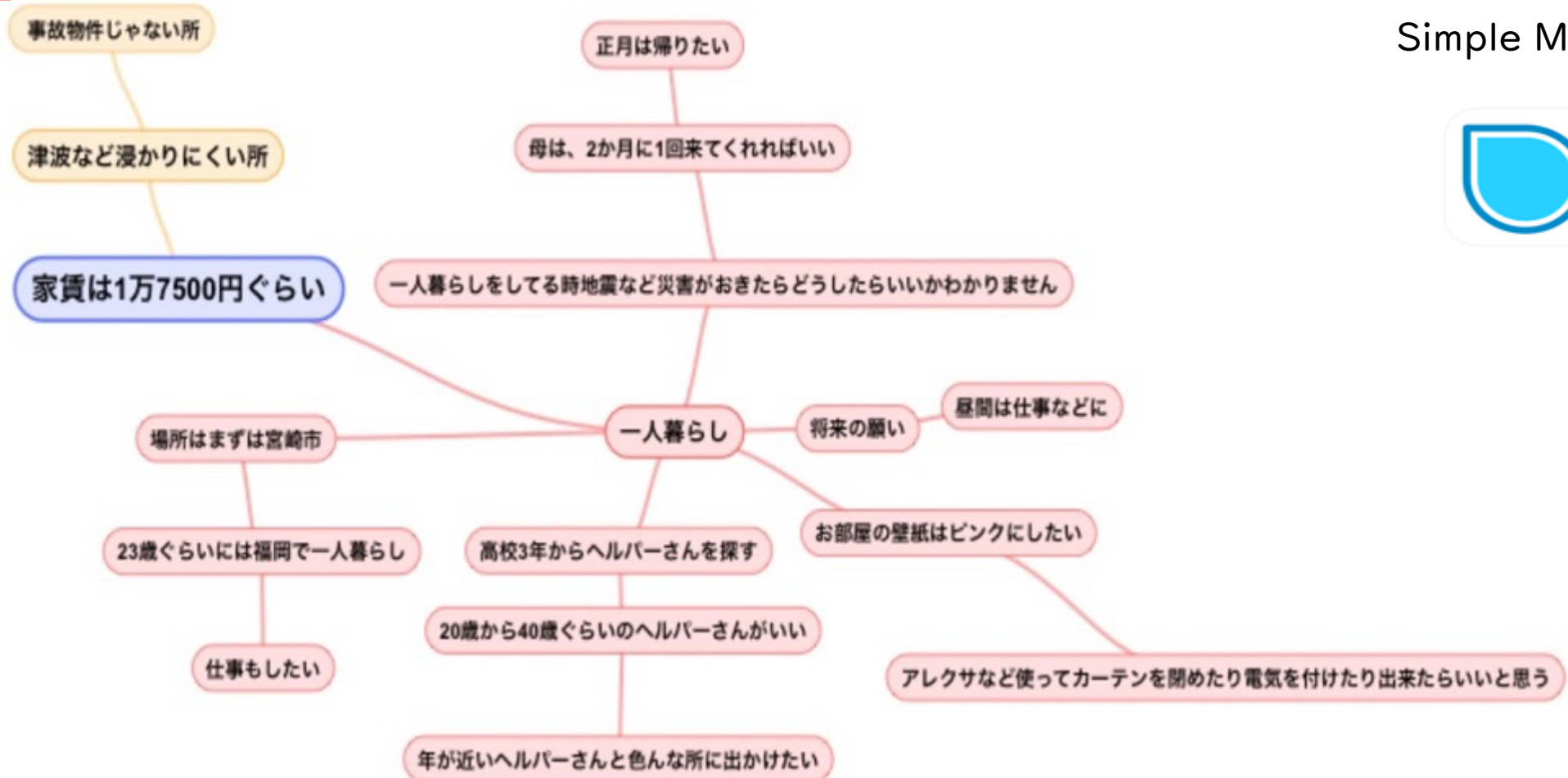


3 Aさんの自立と社会参加へ向けた取組

Aさんの進路に向けた取組

実践Ⅱ 高等部卒業後の生活（将来一人暮らしの夢）に向けたステップの確認（ステップ1）

自分の夢



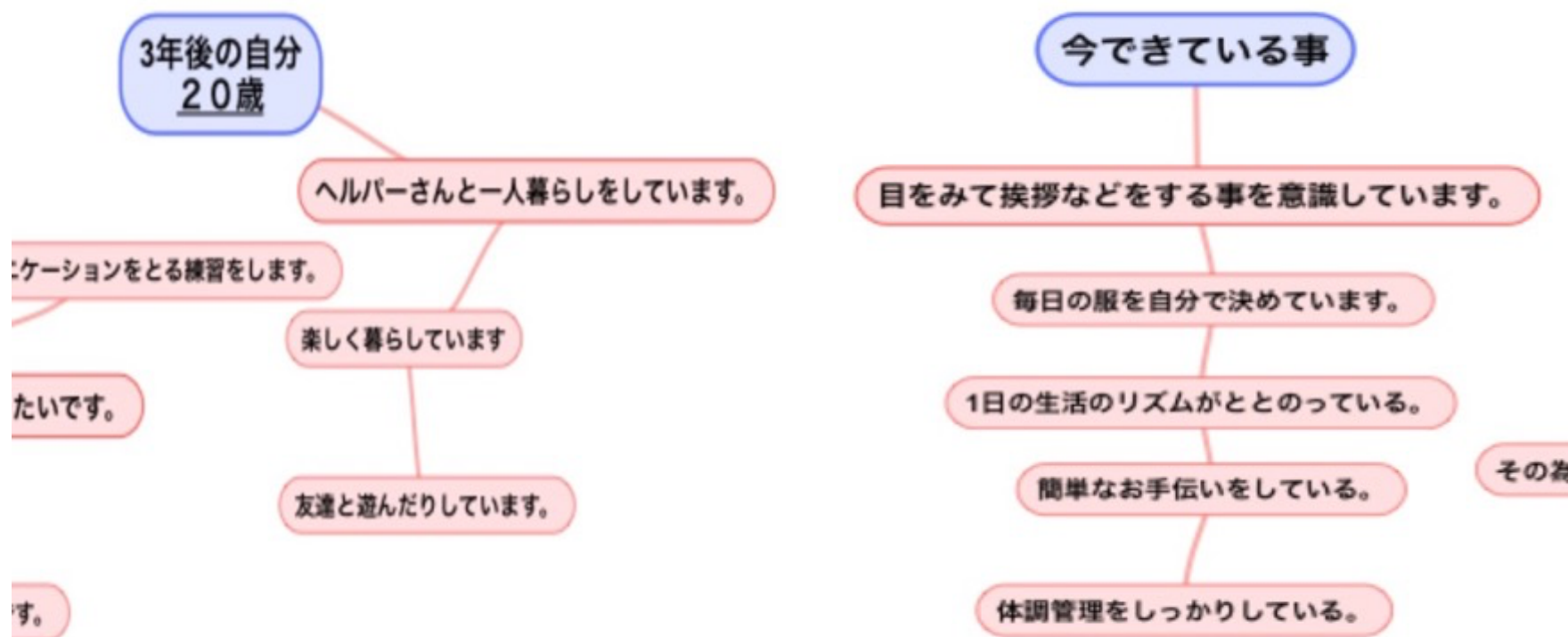
Simple Mind



Aさんの進路に向けた取組

実践Ⅱ 高等部卒業後の生活（将来一人暮らし）に向けたステップの確認（ステップ1）

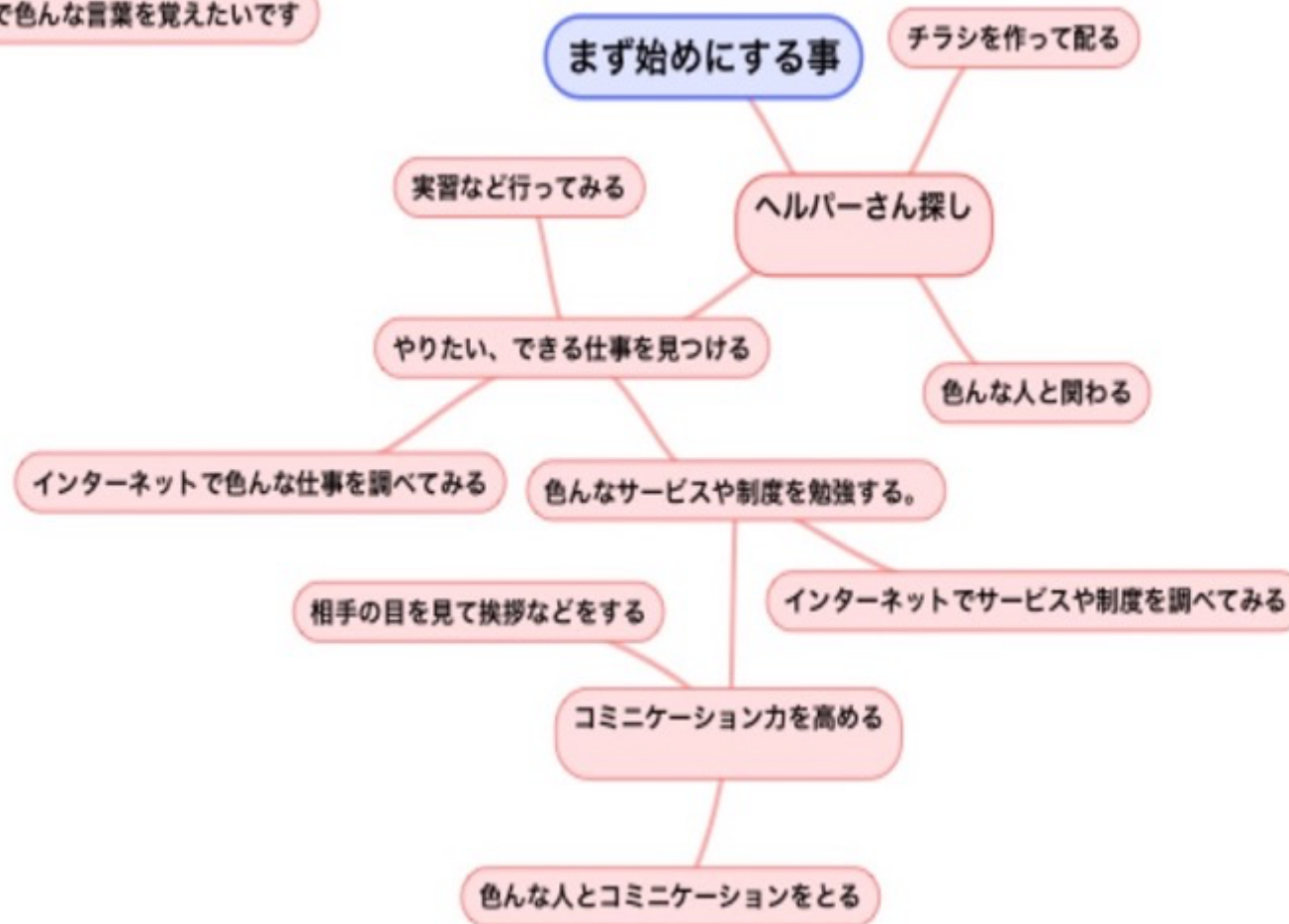
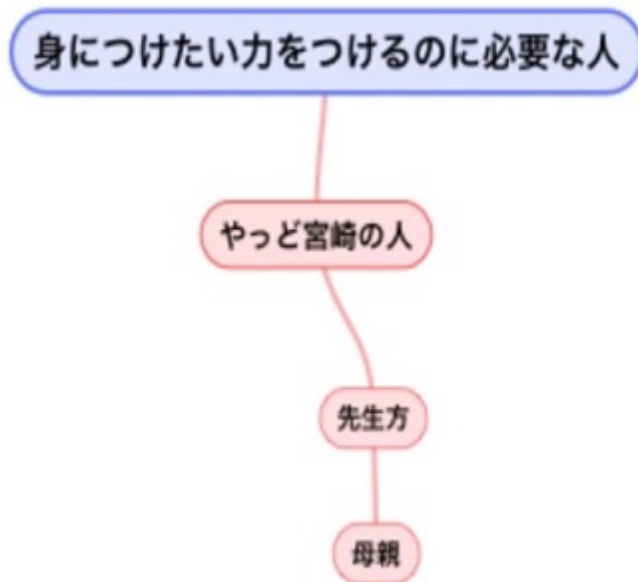
Simple Mind+



Aさんの進路に向けた取組

実践Ⅱ 高等部卒業後の生活（将来一人暮らし）に向けたステップの確認（ステップ1）

その為には、ニュースなどバラエティなどで色んな言葉を覚えたいです



Simple Mind

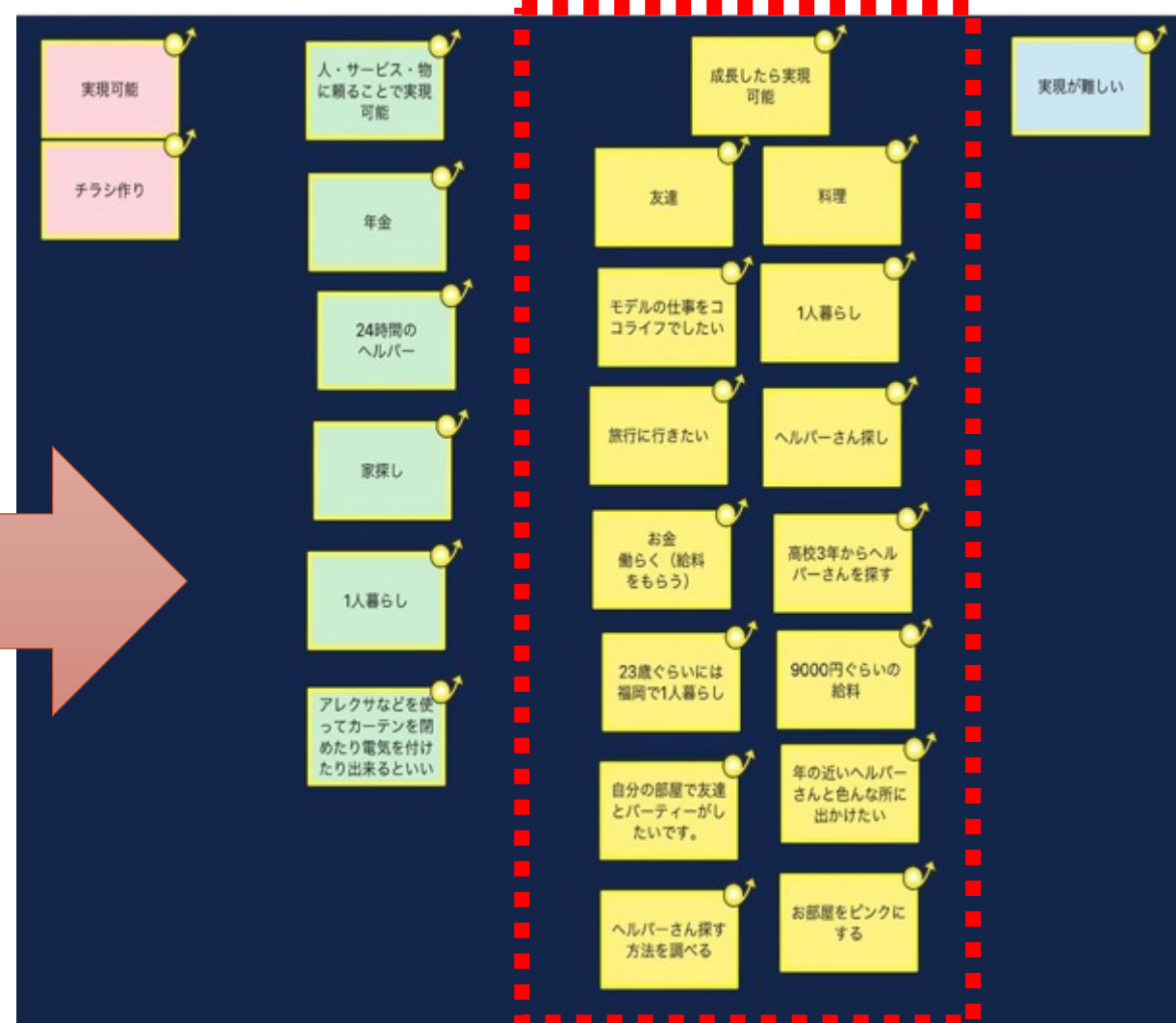
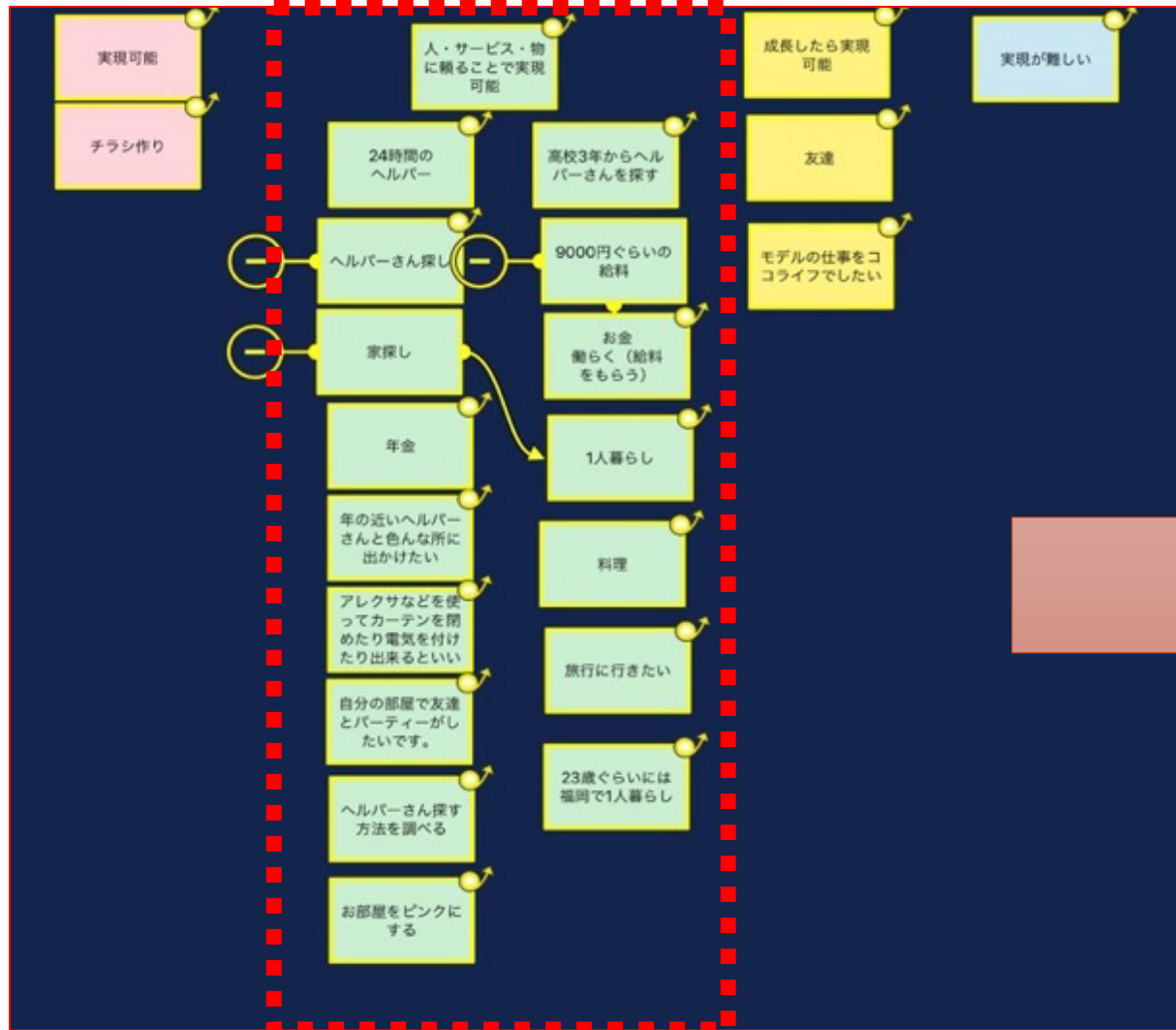


Aさんの進路に向けた取組として

マインドマップで挙げた項目をロイロノートで整理 (ステップ2)



ロイロノート



Pages



- 家のこと
- 家の掃除
- 掃除機をかける
- 料理をする
- 洗濯をしてもらう
- iPad・iPhoneの充電をしてもらう
- 電動車椅子の充電
- 泥棒が来ないために鍵などしっかり閉める

ヘルパーさん募集しています 

連絡先

ヘルパーさん募集のチラシ

私の名前は、XXXXXXXXXX 17才です。
清武せいりゅう支援学校に通っている高校2年生です。
私は、生まれながら人工呼吸器を使っています。
おしゃべりとお出掛けが大好きな高校生です。
私は中学生の頃から一人暮らしをするのが夢です。
自分で予定などたてたいし母から自立がしたいです。
ヘルパーさんには、沢山話しかけてほしいです。
もちろん、私からも話しかけます。
明るいヘルパーさん募集しています。



吸引・トイレ排泄・着替え介助・車椅子の移動
ベッドからの移動・お風呂介助

※24 時間介助が必要なので、沢山のヘルパーさんが必要です。
医療ケア(吸引・注入)が必要なので研修を受けていただき
ます。よろしくお願いします。

連絡先 母・携帯

実際に配布したチラシ

自分に必要な支援・介助について

Aさんの進路に向けた取組

- ・ ステップ1、2の活動でどうしてもやりたいことを実現するために、取り組むべきことを導き出す作業ができた。
- ・ 自分の気持ちが表現できたからこそ、Aさんの願いを、周囲が理解し、進路の方向性を確認することができた。
- ・ 保護者、進路指導主事へ、マインドマップ、ロイロノートの活動、Aさんの変化等を伝え、共有することができた。
- ・ Aさんの担当相談支援員を交えた進路支援会議では、Aさんは自分がやりたいことを伝え、思いや願いを共有することができた。

Aさんが新しい手立てや補助具を受け入れることで、生活を豊かにしていこうとする取組

『Drop Talk』のキャンパスにアレクサスキルを編集

使い方 Drop Talk : 「アレクサ だじゃれを言って」
アレクサ : 「ニューヨークでにゅよく！」



Alexa



Amazon Alexa



ドロップトークでアレクサスキルを操作（動画）



Aさんが新しい手立てや補助具を受け入れることで、生活を豊かにしていこうとする取組

アレクサのアナウンス機能で係活動



Aさんが新しい手立てや補助具を受け入れることで、生活を豊かにしていこうとする取組

アレクサのリマインダー機能の活用



一人暮らしをはじめたら、アレクサでカーテンの開け閉めをしてみよう！！



日常生活のツールの一つとして使い、自立した生活の中で自ら使うことの有効性を実感し、理解へつながった。

太田Stage：ICT有無のソーシャルスキルの評価

ICT無	ICT有
StageⅢ-2 35. ソーシャルスキルとしての言葉	StageⅢ-2 35. 役割による言葉の違い 36. 体験したことを話す 37. 子どもどうしの対人関係を広げる
・対人関係に有用な言葉：「はい」「違います」を筋力低下のため、小さくうなずく、頭を横に傾げるが相手に理解されないことがある。「ありがとう」は、手話で手の動きは小さいが伝えることができる。	35・36・教師の質問に対して、iPad、iPhoneの「しゃべって」アプリを利用し、日記に「（実習後に）あいさつができました。質問されたことにしっかり答えることが難しかったです。」と書く→読み上げる。 37・「LINE」「しゃべって」で自分から友達と遊ぶ約束「今日、（子ども療育）センターに行くんだけど、一緒に遊ぼうよ。」と伝えることができる。

AさんはICTの有無によりコミュニケーションに大きな差が見られる

自分の意思で 生徒会長に立候補 生徒会役員選挙を経て生徒会長になったAさん



休み
選挙



会の原稿も
agesで作成
演説。

活動目的

- ① 自分が伝えたいことを理解し、支援してくれる人を増やす。
- ② 高等部卒業後に向け、主体的に支援を求めることができる内容等の整理をする。

1 学期開始 5 / 25 ~

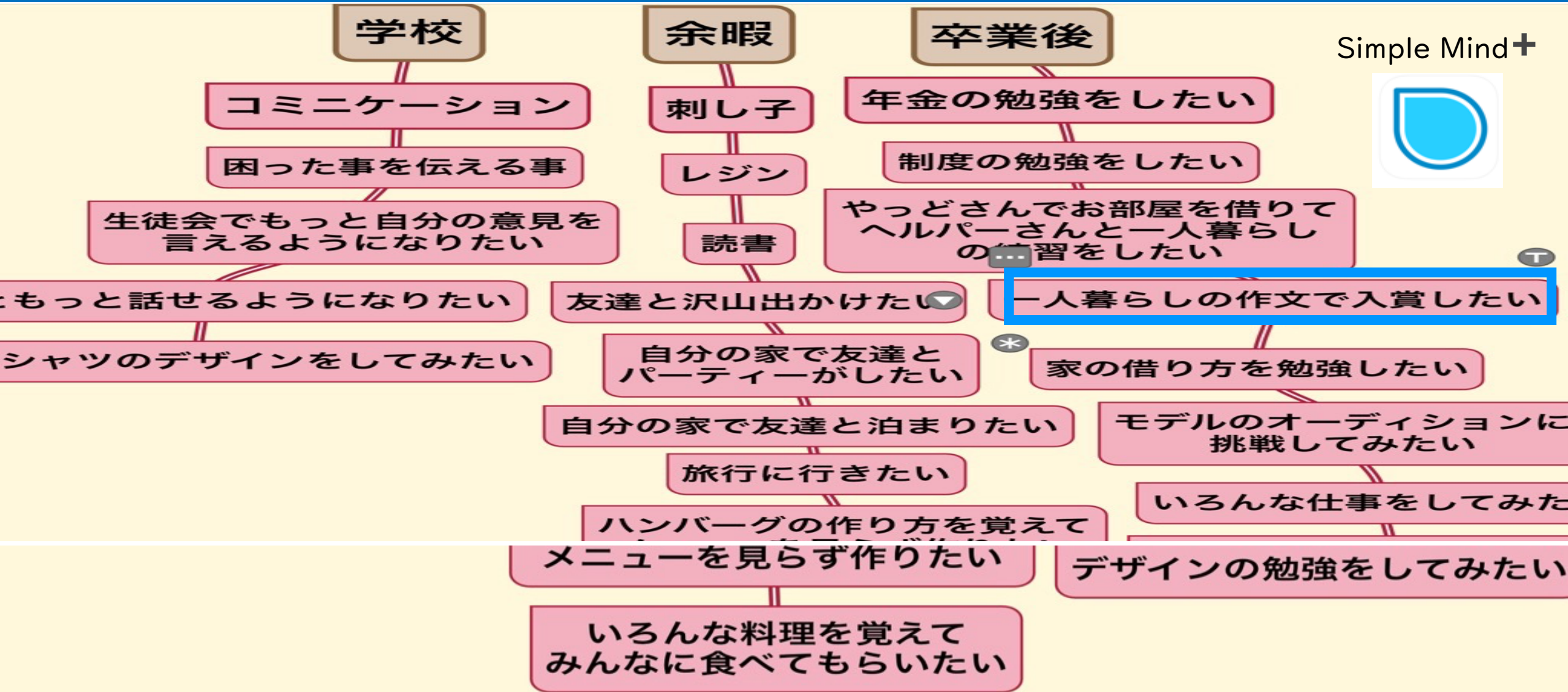
しかし、さまざまな活動が中止に・・・

- ・ 生徒会長が出番の様々な行事
- ・ 遠足
- ・ 校外学習
- ・ 交流および共同学習
- ・ 産業現場等における実習
- ・ 自立支援センターでの活動
- ・ コミュニケーションの場であった給食の時間までも密を避けるために・・・

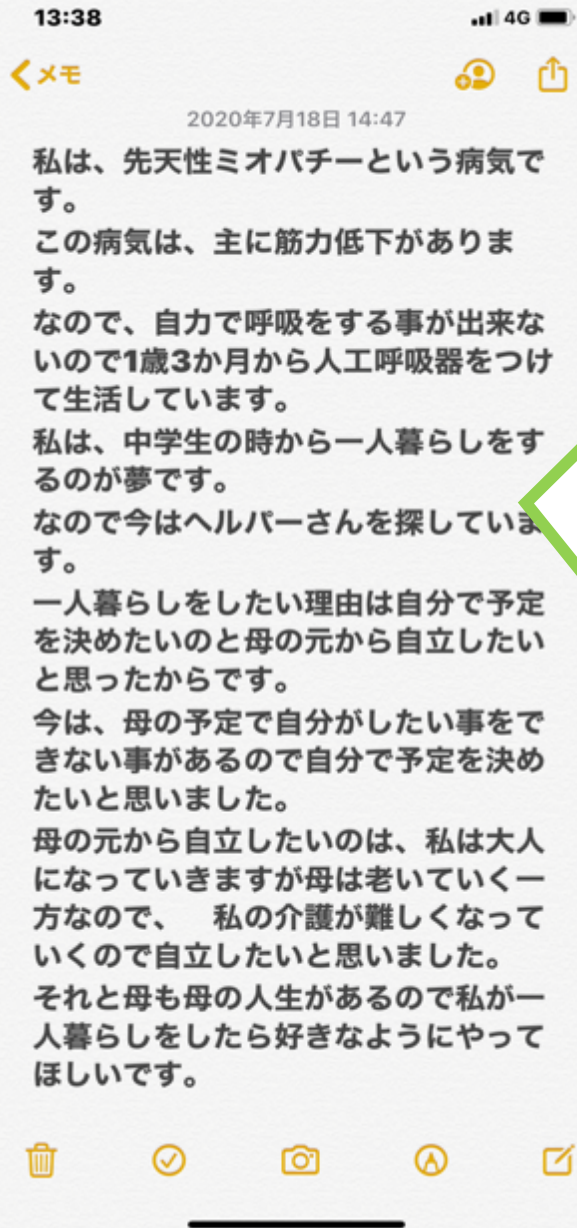
4 今後の卒業までの取組

やってみたいリスト

Simple Mind+



作文に挑戦！！

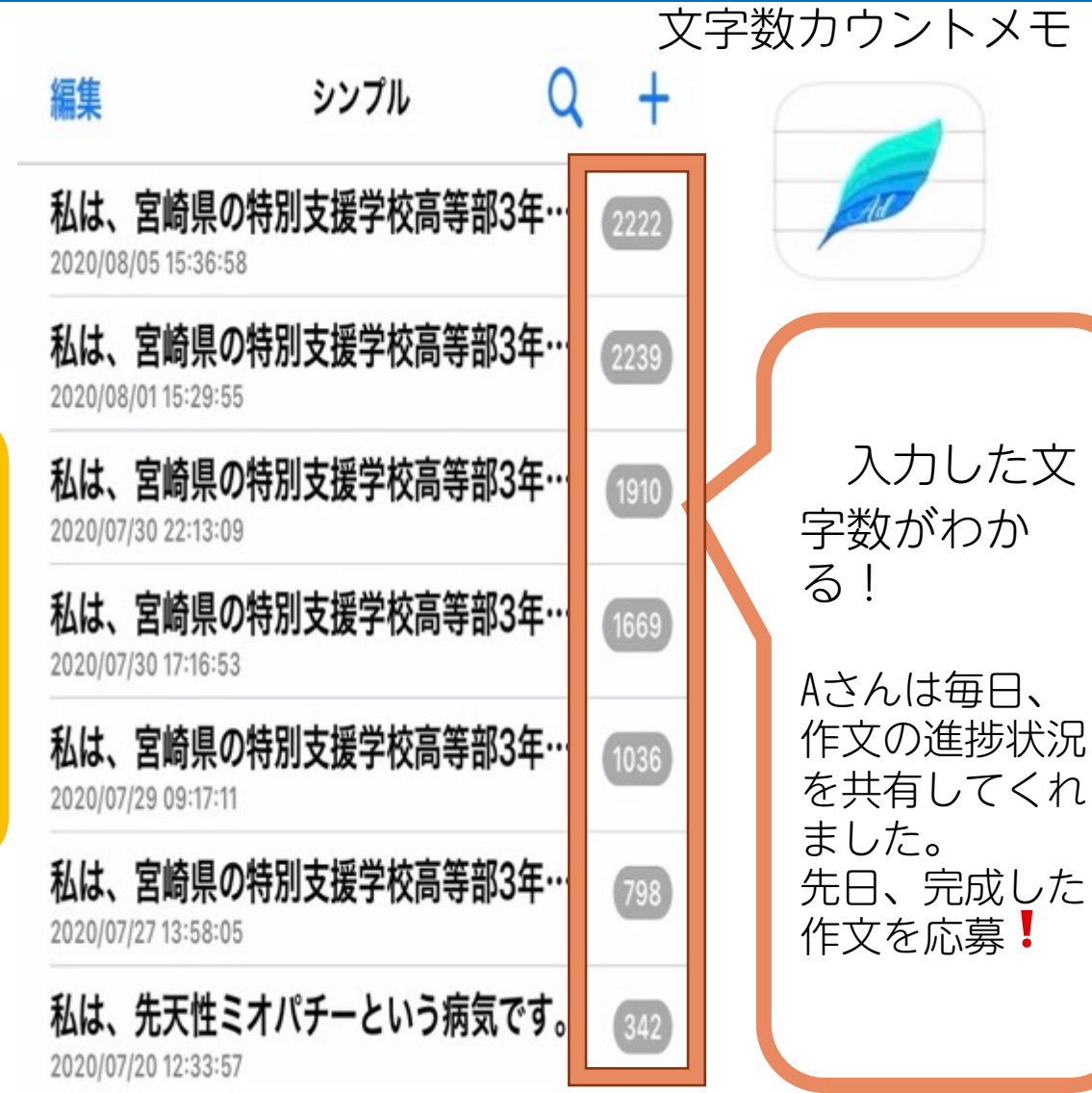


Aさんからの相談が・・・

メモアプリに入力した作文を見せてくださいました。



作文に応募したいと思いついて・・・
2000文字程度らしいです・・・



入力した文字数がわかる！

Aさんは毎日、作文の進捗状況を共有してくれました。
先日、完成した作文を応募！

5 Aさんとの関わりを振り返って

- ① Aさんの発達の段階として、教師及び外部も含めた関係者が、Aさんの実態の共通理解を図り連携を図ることにより、Aさんの成功体験につなげることができた。
- ② Aさんの実態として、体験を実感できる具体的な場面での、シンプルな操作のアプリを使用することが大切である。
- ③ Aさんの成功体験を関係者が共有することがさらなる成長につながると考える。

今後の展望について

- ① 人とのやりとりをすることの楽しさ・喜びを実感できること
- ② 成長過程と指導内容を確実に引き継ぎ、主体的にやりとりをすることができる環境づくり
- ③ Aさんのコミュニケーション力を支援するためのICTの活用
- ④ 日常生活の中で、教師がAさんの興味・関心を大切にすること

Aさんの目指す卒業後の生活に向けた今後の取組について

- ① Aさんが支援を受ける必要があることについての支援ツールを作成
- ② Aさんが主体となり、支援者と一緒に支援の在り方を検討